

平成30年度広陵町下水道事業会計決算審査意見書

1 審査の概要

(1) 審査対象

平成30年度広陵町下水道事業会計決算及び関係書類

(2) 審査実施日

令和元年8月19日（月）

(3) 審査の方法

審査に当たっては、決算書類が地方公営企業法及び関係法令等に基づいて作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかについて確認を行い、併せて関係職員の説明を聴取して行った。

2 審査の結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等の規定に基づいて作成され、財政状況及び経営成績等を精査した結果、計数に誤りはなく適正に表示しているものと認められた。

3 決算の概要

経営状況については、収益的収支において営業収益402,539千円、営業外収益716,499千円、特別利益8,847千円で、営業費用946,724千円、営業外費用118,109千円及び特別損失0円で、収支差引63,053千円の当年度純利益であった。

昨年度に比べ、処理区域内人口は、34,361人から34,337人に減少し、水洗化人口は、31,842人から31,892人に増加したが、普及率は98.3%のままとなり、水洗化率は、92.7%から92.9%となり、0.2ポイント増加した。

本町の下水道の普及率は高い水準にあるが、生活環境の改善や公衆衛生の向上のために、未接続家庭への接続推進を図るとともに下水道長寿命化計画に基づいて管渠の更生をさらに進めていただきたい。

また、今後、消費税率の改正や、独立採算制の原則を踏まえた下水道料金の改定が大きな課題となることから、将来計画を含めた経営状況について積極的に情報提供を行うように努められたい。